

【病院指標－診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位3位まで)】

山中温泉医療センター

【No.1】

診療科名: 内科

診療科コード: 010

(全患者数:986件)

No	順位	DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
1	1	040080x099x0xx	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎(15歳以上) 手術なし 手術処置2 なし	114	17.89	14.34	1.75%	76.48	
2	2	050130xx99000x	心不全 手術なし 手術処置1 なし 手術処置2 なし 定義副傷病 なし	83	24.76	18.30	1.20%	82.45	
3	3	100380xxxxxxx	体液量減少症	54	17.83	9.18	1.85%	78.69	

一番多かったのは、主として肺炎等の治療をおこなった15歳以上の患者さんで、手術をせず「手術・処置2」もおこなわなかった分類です。ただし、この「肺炎」にはインフルエンザ・ウイルス性肺炎、誤嚥性肺炎及び間質性肺炎は含まれていません。在院日数は全国平均と比較して長くなっています。また、平均年齢も高い傾向でした。

二番目に多かったのは、主として心不全の治療で、手術や心臓カテーテル検査などをおこなわず、また、敗血症の併発がなかった患者さんです。平均在院日数は全国平均と比較すると長くなっています。また、平均年齢も高く、後期高齢者が多い傾向でした。

三番目に多かったのは、主として体液量減少症(脱水)の治療をおこなった患者さんで、平均在院日数は全国平均と比較すると長くなっています。また、平均年齢も高い傾向でした。

【病院指標－診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位3位まで)】

山中温泉医療センター

【No.2】

診療科名: 小児科

診療科コード: 100

(全患者数:86件)

No	順位	DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
1	1	040080x1xxx0xx	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎(15歳未満) 手術処置2 なし	22	4.41	5.72	0.00%	2.91	
2	2	150010xxxxx0xx	ウイルス性腸炎 手術処置2 なし	15	3.53	5.50	0.00%	5.73	
3	3	100380xxxxxxxx	体液量減少症	13	3.85	9.18	0.00%	3.31	

一番多かったのは、主として肺炎等の治療をおこなっていた15歳未満の患者さんで、手術をせず「手術・処置2」もおこなわなかった分類です。ただし、この「肺炎」にはインフルエンザ・ウイルス性肺炎、誤嚥性肺炎及び間質性肺炎は含まれていません。平均在院日数は全国平均と比較して短くなっています。また、乳幼児の入院が多い傾向でした。

二番目に多かったのは、主としてウイルス性腸炎の治療を行った患者さんです。平均在院日数は全国平均より短くなっています。また、乳幼児の入院が多い傾向でした。

三番目に多かったのは、主として体液量減少症(脱水)に治療を行った患者さんで、平均在院日数は全国平均と比較すると短くなっています。また、乳幼児の入院が多い傾向でした。

【病院指標－診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位3位まで)】

山中温泉医療センター

【No.3】

診療科名: 外科

診療科コード: 110

(全患者数:35件)

No	順位	DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
1	1	010069xx99000x	脳卒中の続発症 手術なし 手術処置1 なし 手術処置2 なし 定義副傷病 なし	13	117.15	10.85	7.69%	72.62	
2	2	060035xx99x4xx	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍 手術なし 手術処置2 4あり	—	—	4.28	—	—	
3	3	060035xx0100xx	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍 結腸切除術 全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術等 手術処置1 なし 手術処置2 なし	—	—	17.41	—	—	

一番多かったのが、主として脳卒中の続発症の治療を行った患者さんです。主に胃ろう交換を目的に入院していました。平均在院日数が際立って長いのは、身体の状態が安定せず長期入院となった患者さんがいたためです。ただし、患者数が13人と少ないため、個別の値が母集団の平均値に大きく影響しています。

二番目に多かったのが、主として結腸の悪性腫瘍の治療で化学療法をおこなった患者さんです。

三番目に多かったのが、主として結腸の悪性腫瘍の治療で結腸切除術などの手術をおこなった患者さんです。

※自院の平均値に関しては、標本数(患者数)が少ないため、偏差(母集団の平均と個別の値の差)の影響が大きいことをご留意ください。

【病院指標－診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位3位まで)】

山中温泉医療センター

【No.4】

診療科名: 整形外科

診療科コード: 120

(全患者数:255件)

No	順位	DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
1	1	160690xx99xx0x	胸椎、腰椎以下骨折損傷(胸・腰髄損傷を含む。)手術なし 定義副傷病 なし	66	61.23	21.52	0.00%	82.30	
2	2	160800xx01xxxx	股関節大腿近位骨折 人工骨頭挿入術 肩、股等	24	72.21	28.70	16.67%	80.67	
3	3	160980xx99x0xx	骨盤損傷 手術なし 手術処置2 なし	15	67.60	21.26	0.00%	81.73	

一番多かったのが、主として胸椎、腰椎以下の骨折損傷の治療で、手術せずに保存的療法をおこなっていた患者さんです。平均在院日数は全国平均と比較して長く、また、平均年齢も高く後期高齢者が多い傾向にあります。

二番目に多かったのが、主として股関節大腿骨近位骨折の治療で、人工骨頭挿入術等の手術をおこなった患者さんです。平均在院日数は全国平均と比較して長く、また、平均年齢も高く後期高齢者が多い傾向にあります。

三番目に多かったのが、主として骨盤損傷の治療で、手術せずに保存的加療をおこなっていた患者さんです。平均在院日数は全国平均と比較して長く、また、平均年齢も高く後期高齢者が多い傾向にあります。